

令和2年度事業報告書

1. 音楽録音事業に関する調査及び研究

(1) 音楽録音事業の基盤となる音楽産業の現状及び将来性についての調査及び研究

- ① 関連団体、音楽業界誌などの資料により、音楽制作の市場規模などの調査を実施した。
- ② 中国交流プロジェクトの一環として前期に実施した北京訪問ツアーを経て、中国との技術交流による双方の人材育成および音楽制作の日本国内への取り込みに向けて、現地コーディネータとの連携を取りながら情報収集を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中断している。

(2) スタジオ使用の実態調査及び研究

- ① 9月、音楽録音事業に関する調査報告書を編纂するため、法人正会員社及び準会員社の売上規模、稼働状況等に関する「第19回音楽スタジオ事業経営実態調査」を実施した。
調査内容：売上の推移、稼働時間と時間単価の推移、スタジオ使用料、スタジオ使用料の見直し、クライアントのスタジオ使用に関する内容について、ブッキング業務の現状について、エンジニアの雇用について、働き方改革について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策・影響による変化・影響を受ける事業者への支援策について、受動喫煙対策法について、レコーディングスタジオ事業の問題点、スタジオ運営・営業上の対応に苦慮する問題点

(3) 音楽録音事業従事者の雇用に関する調査及び研究

- ① 3月、法人正会員社、準会員社、賛助会員社を対象とし、過去1年間に於ける事務職、営業職、技術職に区分した新規採用調査を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規採用計画状況に関する調査に内容を変更して実施した。
- ② 3月、法人正会員社、準会員社を対象とし、担当業務別の正社員数、契約社員数、アルバイト数、マネージメント契約エンジニア数及びインターンシップ受け入れ数について、雇用内容を把握するため、雇用形態調査を実施した。

2. 音楽録音事業に関する研修会及びセミナー等の開催

(1) スタジオ運営に関する研修会等の開催

- ① 法人正会員社及び準会員社を対象としたスタジオ運営に関する情報交換会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防から、オンライン会議による情報交換会として開催し、コロナ禍における予防対策や稼働状況等含め、様々な課題検討および情報の共有化を図った。

- ・ 5月21日（木） 参加者：16社 21名 オンライン会議システム
- ・ 6月18日（木） 参加者：13社 18名、個人正会員1名 オンライン会議システム

- ② 11月19日（木）、主にスタジオ経営者及びスタジオマネージャーを対象として、スタジオ運営の実態に関する問題点を把握し、対応策を検討することを目的とする「第15回スタジオ意見交換会」を、会員外スタジオの参加も含め、オンライン会議にて開催し、コロナ禍の対応や延長料金および深夜の交通費等に関する問題を含めて意見交換を行った。

司会進行：明地 権氏 株式会社サウンド・シティ

参加者：法人正会員10社15名、会員外スタジオ2社5名、個人正会員1名 計21名

(2) スタジオ施設に関する見学会の開催

- ① 賛助会員を対象とし、スタジオ設立からの沿革、音響設計に関する基本コンセプト等を把握することを目的とする「スタジオ見学会」については、新型コロナウイルス感染症拡大予防を踏

まえ実施を見送りとした。

3. 音楽録音事業に関する機材及び技術の調査並びに人材育成

(1) エンジニアの質的向上を図るため、国内の専門家を講師とする研修会等の実施

- ① 10月7日(水)、ビクタースタジオを配信会場としてZOOMウェビナーにより、JAPRS オンライン技術セミナー「音楽配信に向けての基礎講座」を実施した。

【Vol.1】◆「こんなに身近になった有料配信事業の立ち上げ」

講師：石川 勇氏 / 伊藤忠ケーブルシステム(株)

ネットワークソリューション本部メディアサービス部

【Vol.2】◆「音楽発信・リモートコラボレーションと低遅延伝送/配信技術

～ソーシャルディスタンスを越えて～

講師：遠藤 真氏 / NTTエレクトロニクス(株)

映像コンポーネント事業本部ビジネス戦略室

ZOOMウェビナー参加者：100名

- ② 3月11日(木)、株式会社キング関口台スタジオを配信会場とし、株式会社コルグ開発の高音質動画配信システム「Live Extreme」および株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ)のネットワークシステムを使用したJAPRSオンライン技術セミナー「ハイレゾ・オーディオと高画質映像によるスタジオからのライブ配信実践セミナー」を実施した。

◆1部「Live Extreme」による配信

(1)開催の挨拶～セミナー概要説明～講師ご紹介 / 深田 晃 JAPRS 技術委員長

(2)令和2年10月にキング関口台スタジオにて開催された同システムを使用した実証実験の説明およびライブ配信におけるエンジニアリングについて

/ キング関口台スタジオ 高橋 邦明氏(経営本部長代理兼管理統括部長)

/ キング関口台スタジオ 吉越 晋治氏(録音部 編集グループ エンジニア)

(3)スタジオから配信を行うために必要なネットワークおよびシステム概要について

/ 株式会社インターネットイニシアティブ 富米野 孝徳氏

(デジタルコンテンツ配信部 副部長)

(4)「Live Extreme」について / 株式会社コルグ 大石 耕史氏

(執行役員/技術開発部部長)

◆2部「Live Extreme」による配信

・ピアノ演奏のライブ配信実践

ピアニスト/石塚まみ氏、エンジニア/高田 英男会長

(1)ライブ配信の概要説明 / 深田 晃技術委員長

(2)ピアニスト紹介～マイクセッティングに関する説明 / 高田 英男会長

(3)配信機材構成の紹介 / 大石 耕史氏

(4)演奏のライブ配信

◆質疑応答「ZOOMウェビナー」による配信

※以下に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止等とした活動計画を記す。

- ① 5月19日(火)、株式会社メディア・インテグレーションROCK ON PROセミナールームに於いて、「Avid Pro Toolsセミナー」実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

- ② 6月7日(日)、東京国際フォーラムD5ホールに於いて、一般社団法人日本オーディオ協会が主催する「OTOTEN2020」に協力し、以下の内容により技術セミナー実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

内容：「アナログマスターテープに込めた思いを伝える！」とし、音楽試聴文化がストリーミング再生(利便性)中心に推移していく今、アナログマスター音源の魅力(音の質の力)を伝える。

司会：高田 英男 日本音楽スタジオ協会会長

下記4社の各代表者にアナログマスター音源をプレゼンいただく。

キングレコード株式会社（株式会社キング関口台スタジオ）

株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント（ビクタースタジオ）

日本コロムビア株式会社（日本コロムビアスタジオ）

株式会社ミキサーズラボ

- ③アナログレコード・カッティングエンジニアによるトークセッション実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
 - ④A Iプラグインを使用した各種音創りセミナー（マスタリング、ミキシング、ラウドネス等）を実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
 - ⑤第26回日本プロ音楽録音賞において受賞した3Dサラウンド作品を担当した各エンジニアを講師とし、録音～ミックス作業についての講義、および東京藝術大学生による3Dサラウンド作品紹介の試聴会を実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
 - ⑥賛助委員会／技術委員会の共同開催により、スモールモニタースピーカ各種試聴会実施を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
 - ⑦11月19日（木）、幕張メッセに於いて開催される「Inter BEE 2020」に関し、賛助会員社ブースツアーを実施を予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインによる開催に変更となったため、オンライン出展する賛助会員社の情報を収集し、会員社への告知を行った。
 - ⑧人材育成を目的とした北京（中国伝媒大学および中国録音技師会等）との技術交流セミナー東京開催に向けて情報交換を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大影響により中断している。
- (2) エンジニアを対象とした機器メーカーによる新規開発技術及び新機器についての研修会
- ①11月18日（水）より20日（金）まで、幕張メッセに於いて開催される予定であった「Inter BEE 2020」についてはオンライン開催へと変更となったため、オンライン出展する賛助会員社の情報を収集し、出展・セミナー開催の情報を会員社へ告知を行った。
- (3) 資格認定制度に基づく第19回JAPRS認定サウンドレコーディング技術認定試験の実施
※新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、10月11日（日）に延期して実施した。
- ①4月20日（月）、「2020年度版問題集／技術資料集」（B5判193頁）を発行した。
 - ②5月、受験申請書、Web申し込みフォーム等を作成し、団体受験及び個人受験申請者に対応した。
 - ③8月から9月、資格認定制度委員会内に問題作成小委員会を組織し、認定試験問題を作成した。
 - ④10月、受験申請者に対する受験票及び団体受験会場に対する問題用紙、マークシート、受験者リスト等を作成送付し、実施に向けて対応した。
 - ⑤10月11日（日）、賛助会員専門学校及び会員外専門学校の協力を得、感染症予防対策を講じながら、札幌、仙台、郡山、新潟、東京、名古屋、大阪、広島、福岡の9地区23ヶ所の団体受験会場に於いて認定試験を実施した。
受験申請者数：572名、受験者数：488名
 - ⑥11月、受験者に対して認定証カード及び成績証明書を作成し、交付した。
 - ⑦3月、令和3年7月に実施する「第20回JAPRS認定サウンドレコーディング技術認定試験」を控え、告知ポスター及び受験案内パンフレット並びに団体受験マニュアルを作成し、団体受験候補先及び会員スタジオに配布した。
- (4) 資格認定制度に基づく第17回JAPRS認定Pro Tools技術認定試験の実施

- ① 4月、資格認定制度委員会内に「2020年度版問題集／技術資料集」作成小委員会を組織し、問題集の作成を開始した。
- ② 5月、9月6日（日）に実施する認定試験を控え、告知ポスター、受験案内パンフレット、受験申請書、団体受験マニュアル、Web申し込みフォーム等を作成し、団体受験及び個人受験申請者に対応した。
- ③ 6月20日（土）、初級編、中級編及び技術資料集に区分された「2020年度版問題集／技術資料集」（B5判233頁）を発行した。
- ④ 7月、資格認定制度委員会内に問題作成小委員会を組織し、認定試験問題を作成した。
- ⑤ 8月、受験申請者に対する受験票及び団体受験会場に対する問題用紙、マークシート、受験者リスト等を作成し、実施に向けて対応した。
- ⑥ 9月6日（日）、賛助会員専門学校及び会員外専門学校の協力を得、感染症予防対策を講じながら、札幌、仙台、新潟、小山、東京、横浜、名古屋、大阪、広島、博多の10地区24ヶ所の団体受験会場に於いて認定試験を実施した。
受験申請者数：808名、受験者数：749名
（※前年度の受験申請者数655名に対し大幅な増となった。）
- ⑦ 10月、受験者に対して成績証明書、認定証カードを作成し、交付した。

(5) 専門学校の学生を対象とした研修会等の実施

- ① 5月16日（土）、専門学校学生を対象とし、JAPRS法人正会員、準会員、賛助会員企業の出展による就職支援説明会「JAPRS企業説明会」を東放学園音響専門学校・渋谷校舎に於いて実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症予防およびコロナ禍における出展を予定していた企業の採用計画の見直しもあり開催を断念し中止とした。
- ② エンジニア人材育成プログラムとして、正会員スタジオ2社および賛助会員専門学校1校の協力により、アシスタントエンジニアを目指す専門学校2年生以上及び音楽・芸術系大学生（名古屋地区）を対象に、レコーディングスタジオに於ける現役エンジニアによる「2020年レコーディングセミナー（スタジオワーク編）」（旧称：新プロ・エンジニア養成セミナー）を東京、名古屋、大阪地区に於いて実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえ中止とした。
- ③ 11月21日（土）、王子・北とびあ 6F ドームホールに於いて、専門学校学生を対象とした「2020年度JAPRS新人エンジニア育成研修会」を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防を踏まえ、ビクタースタジオを配信会場としたオンライン開催として実施した。
内 容：I部 (1)高田会長が携わる新しい立体音場表現技術の紹介動画視聴
(2)「スペシャリストを目指して」
講師：高田 英男氏 JAPRS会長
講師：中山 佳敬氏 株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
ビクタースタジオ チーフエンジニア
(3)「レコーディングとアシスタントエンジニアの仕事について」
講師；内藤 重利 JAPRS事務局／専門学校委員長
(4)「コロナ禍におけるレコーディングスタジオの現状と変化、
そして今スタジオではどんな人材が求められているか？」
講師：明地 権氏 株式会社サウンド・シティ 営業部長
II部 (1)「現役エンジニアQ&Aコーナー」
司会：阿部 純也 東放学園音響専門学校

エンジニア：佐藤 千恵 音響芸術専門学校 卒
／(株)サウンドインスタジオ
眞鍋 広 九州大学 芸術工学部音響設計学科 卒
／(株)JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
荒谷 莉子 城西国際大学メディア学部メディア情報学科 卒
／(株)エムアイティギャザリング

(2)「JAPRSからのインフォメーション」

担当：内藤 重利 JAPRS事務局／専門学校委員長

ウェビナー参加者：100名

(6) 専門学校に於ける職業実践専門課程に関する教育課程編成への支援・協力

①文部科学省より平成26年4月から従来の専修学校（専門課程）の上位に位置する新たな枠組みとして「職業実践専門課程」を新設することが内示されたが、JAPRS賛助会員に加盟する専門学校が、この専門課程を申請するに当たり、認定基準となる教育課程（カリキュラム）の編成、演習、実習等の内容、教員研修、学校評価等に対するアドバイザーとして、当協会に対する教育課程編成委員就任の要請があり、今期は、以下の各氏が就任し、専門学校に協力した。

仙台スクールオブミュージック&ダンス専門学校	目等 進氏	個人正会員
東京スクールオブミュージック専門学校 渋谷	〃	〃
専門学校デジタルアーツ仙台	〃	〃
専門学校名古屋ビジュアルアーツ	深田 晃氏	個人正会員
専門学校ESPエンタテインメント東京	内藤 重利	JAPRS事務局

4. 音楽録音事業に関する技術及び仕様の標準規格の調査及び策定

(1) 音楽録音に伴う音楽コンテンツデータ構築の標準化

①関連団体である演奏家権利処理合同機構MPNとの業務提携契約により、平成24年6月に開始したミュージシャンのレコーディングデータ収集を目的とする、会員スタジオに於けるMPN BOXの設置を継続した。

(2) スタジオ運営に関する規程・フォーマットの標準化

①新ルールを告知するためのポスター及びチラシを作成、会員スタジオ内での掲示及びスタジオ使用者への周知活動推進を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下では効果が得られないと考え令和3年度へ延期とした。

②スタジオ運営に関する問題点の共有化、またコロナ禍における状況および対策に関する情報共有を図るため、オンライン会議での情報交換会および状況報告会を実施した。

(3) 音楽制作に係る関連三団体による制作環境の再構築と標準化

①東京音楽事業者連盟及び一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNとともに設立した「レコーディング三者協議会」に於いて、音楽録音業務に係る様々な検討課題の整理・標準化活動を推進した。

(4) 音響設計に関する基礎知識の標準化

①平成18年1月に発行したJAPRS推奨「音楽録音スタジオにおける音響設計ガイドブック」第8刷を継続して頒布した。

(5) DVD-Videoの音声規格に関する標準化

①平成21年9月に発行した「サウンドエンジニアのためのDVD-Video音声基礎講座」を継続して頒布した。

5. 音楽録音事業に関する内外関連機関等との交流及び協力

(1) 音楽制作関連団体との情報交換を行う協議会等の開催

- ①関連団体である一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPN及び東京音楽事業者連盟と共に、三団体が共有する音楽制作に関連する課題解消を目的としたレコーディング三者協議会 (ref) に於ける月例の連絡会議(今期はオンラインにて開催)に参画した。
- ②一般社団法人日本ポストプロダクション協会 (JPPA) が主催し、編集技術者の質的向上を目的として制定し、映像・音響作品及び編集技術者を推奨し表彰する「JPPA AWARDS2020」を後援した。
- ③NPO法人ミュージックソムリエ協会が主催する、全国のCDショップ店員の投票だけで選ばれる賞「第13回CD ショップ大賞 2021」を後援した。
- ④一般社団法人日本オーディオ協会が主催し、6月6日(土)～7日(日)に有楽町・東京国際フォーラムに於いて開催する「Audio FAIR 2020 (OTOTEN)」を後援、またJAPRSとして技術セミナー開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。
- ⑤一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) が主催し、11月18日(水)～20日(金)に幕張メッセに於いて開催される予定であった第56回2020国際放送機器展「Inter BEE 2020」のオンライン開催に協力した。

6. 音楽録音事業に関する表彰制度の拡充

(1) 日本プロ音楽録音賞の実施

- ①特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会、一般社団法人日本オーディオ協会、一般社団法人日本レコード協会、一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPN、日本放送協会と運営委員会を組織することにより、「第27回日本プロ音楽録音賞」を実施し、12月2日(水)東京国際フォーラムD7ホールに於いて授賞式を開催する計画をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、下記の理由により開催を見送りとした。
 - ・対象応募作品への影響(新譜リリースや新番組放送の延期)
 - ・審査運営および会場となるスタジオが影響を受けている状況での協力要請が困難
 - ・審査時における3密への懸念(長時間の閉鎖空間における審査、リスニングポイント)
 - ・授賞式開催時期12月頃の第2・3波への懸念(授賞式、パーティーでの3密)
 - ・27年目を迎えたプロ録のあるべき姿や運営方法の見直し時期に来ているが、実施内容の見直しに向けた詳細打ち合わせが困難

7. 音楽録音事業に関する情報収集及び提供

(1) 会報の発行

- ①会報誌「JAPRS」を6月に初夏号、1月に新春号として発行した。
 - 初夏号内容：第16回スタジオ見学会「東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス」
 - 令和元年JAPRS忘年会
 - 令和2年JAPRS新年会
 - 2020年JAPRS新人エンジニア育成研修会レポート
 - 第3回マスタリングセミナーレポート
 - 会員動向
 - 新春号内容：会長年頭挨拶
 - 令和2年度通常総会について
 - 第17回JAPRS認定「Pro Tools技術認定試験」実施報告
 - オンライン技術セミナー「音楽配信に向けての基礎講座」実施報告
 - 第19回JAPRS認定「サウンドレコーディング技術認定試験」実施報告
 - 「2020年度JAPRS新人エンジニア育成研修会」実施報告
 - 会員動向

(2) 技術資料集の発行

- ① 4月20日（月）、2020年度版「サウンドレコーディング技術認定試験問題集／技術資料集」（B5判193頁）を発行した。

技術資料集内容：1. 電気の基礎知識
2. 規格表
3. 定番の音響機器
4. 音楽に関わる基礎知識
5. 録音の歴史
6. 音楽スタジオ関連年表

- ② 6月20日（土）、2020年度版「Pro Tools技術認定試験問題集／技術資料集」（B5判233頁）を発行した。

技術資料集内容：A. Pro Tools概要
B. オーディオレコーディング・編集
C. ミキシング
D. Pro Toolsシステム・シンク・MIDIなど

- ③ 3月19日（金）、録音に関わる協会技術マニュアル「サウンドレコーディング技術概論・2021年版」を発行した。

(3) インターネットの有効的な活用の推進

- ① 情報公開、情報伝達の普遍的な手段となっているインターネットの利用については、会報・会員リスト・協会活動情報・インフォメーション等の情報を更新した。また資格認定制度に基づく技術認定試験の出願の際、個人受験者用にWeb申し込みフォームを開設し対応した。

URL <https://www.japrs.or.jp>

E-mail japrs@japrs.or.jp

- ② JAPRSホームページ上に情報公開を行った。

掲示内容：1. 定款
2. 役員名簿
3. 社員名簿
4. 事業報告書
5. 収支計算書
6. 貸借対照表
7. 事業計画書
8. 収支予算書

- ③ 新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年賀詞交歓会を中止としたが、会長の年頭所感をYouTube動画としてホームページにアップし、会員に展開した。

8. 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業等

(1) 会員の入会促進

- ① 未加入音楽スタジオ及び機器メーカー等に協会資料を送付する等の活動を実施した。本年度の新加入者は、法人正会員1社であった。

(2) 会員相互の交流活動の実施

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため交流活動の実施を見送りとした。

- ① 6月5日（金）、通常総会後に会員の親睦、情報交換を目的とした懇親会を計画していたが中止とした。
② 8月4日（火）、賛助会員及び正会員との親睦、情報交換を目的とし賛助会員交流会を計画したが中止とした。
③ 会員及び関連先との親睦を目的とした第32回JAPRSゴルフコンペの開催を中止とした。
④ 12月9日（水）、御茶ノ水ホテルジュラクに於いて、会員相互の情報交換と親睦を目的とした

年末交歓会を中止とした。

- ⑤ 1月21日（木）、明治記念館に於いて、会員及び関連団体を対象とした賀詞交歓会開催を中止とした。

(3) 主たる会議開催

I. 総会

① 令和2年通常総会

令和2年度通常総会については、新型コロナウイルス感染症拡大予防を踏まえ、一堂に会することは困難であると判断し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条1項の規定に基づき、法人正会員（22社）及び個人正会員（13名）全員の同意を以って通常総会の決議とすることとし、下記通常総会議案については、議案説明資料を添付の上、「提案書」及び「同意書」の送付、そして質疑についての回答を行った上で、法人正会員及び個人正会員全員の同意書が事務局に到着した6月18日(木)を以って、通常総会決議の成立とした。

- 議案：1. 令和元年度収支決算書（案）について
2. 令和2年度収支予算書（案）について
3. 役員全員任期満了による新役員の選出について

II. 理事会

① 5月19日（火） 第25回理事会

オンライン会議システムにて開催

- 議案：1. 令和元年度事業報告書（案）及び収支決算書（案）について
2. 令和2年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について
3. 令和2・3年度新役員構成（案）について
4. 令和2・3年度委員会構成（案）について
4. 令和2年度通常総会の開催について
5. その他（会員の入退会等について）

② 6月22日（月） 第26回理事会

オンライン会議システムにて開催

- 議案：1. 三役及び常任理事の選出について
2. 名誉会長及び顧問並びに相談役の推選について
3. 各委員会構成について
4. その他（役員提出書類等についての確認）

III. 幹部会（オンライン会議システムにて開催）

① 11月13日（金） 第1回

議案：10月度収支、各委員会報告、その他（会員の退会等について）

② 3月16日（火） 第2回

議案：2月度収支、3月度収支予定、各委員会報告、その他（通常総会・理事会の開催、会員社に向けた活動について）